

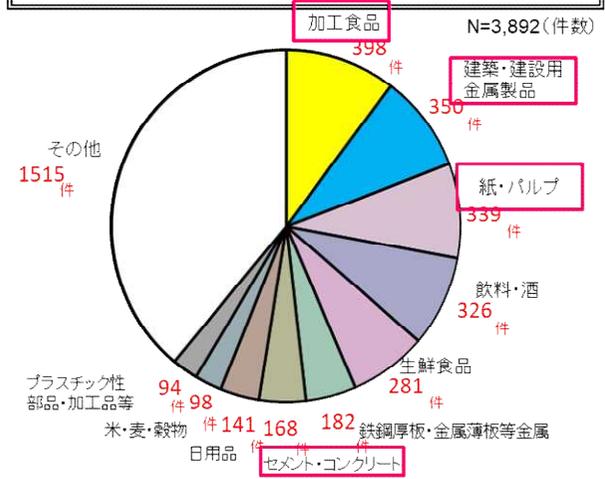


荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン (加工食品、建設資材、紙・パルプ(洋紙板紙・家庭紙)物流編)について

1. ガイドライン策定の経緯

- トラック運送業においては、ドライバー不足が大きな課題となっており、トラック運送事業者、発着荷主等の関係者が連携して、取引慣行上の課題も含めてサプライチェーン全体で解決を図っていくことが必要。
- 一方、個々の輸送品目ごとに抱える課題や特性に違いがあるところであり、輸送品目別に検討を行うことが効果的。
- このため、荷待ち件数が特に多い加工食品、建設資材、紙・パルプの各分野の物流について、課題の抽出を図るとともに、トラック運送事業者及び発着荷主が参画して長時間労働の改善を図るため懇談会を設置。懇談会の検討の成果としてガイドラインを策定。

30分以上の荷待ち時間が生じた件数(輸送品目別)



2. ガイドラインの構成

【まえがき】

- ガイドライン策定の経緯とトラック運送事業の現状
 - 今後のトラック運送事業の見通し、
 - トラック運送事業を取り巻く制度面の変遷、
 - トラック運送事業の健全な発展に向けて

【本編】

- 輸送品目別物流における現状・課題、解決の方向性の整理
- 取引環境と長時間労働の改善に向けた具体的な取組み事例等

【あとがき】

- 輸送品目別物流における今後の取組みの方向性
- おわりに (サプライチェーン関係者へのメッセージ)



加工食品物流編



建設資材物流編



紙・パルプ(洋紙・板紙分野)物流編



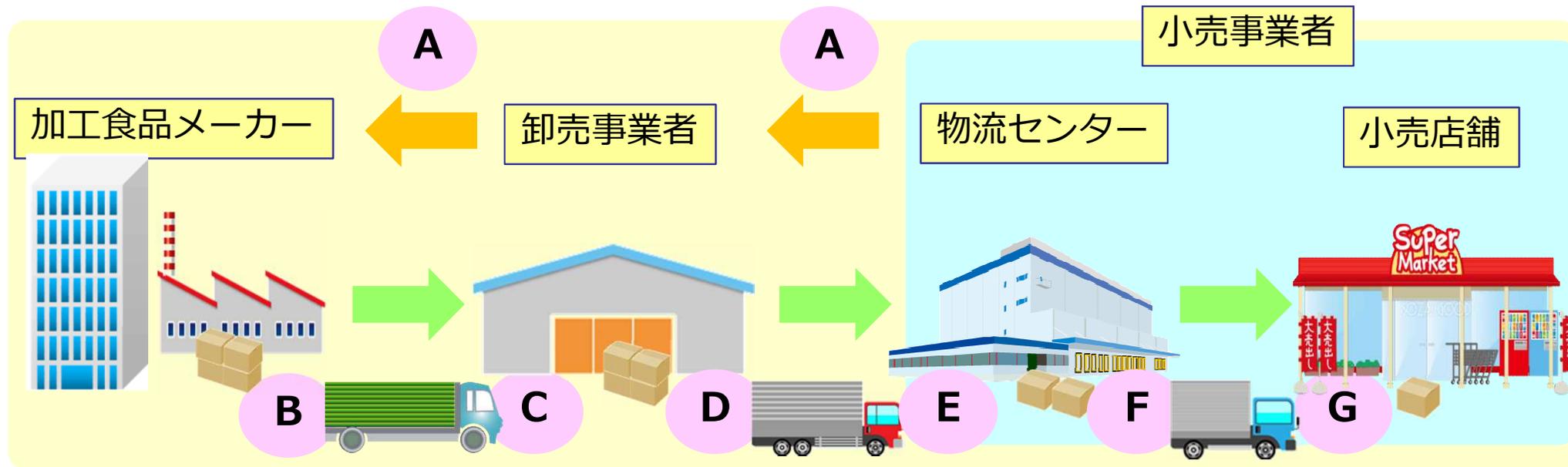
紙・パルプ(家庭紙分野)物流編

各ガイドラインの概要

品目	主な課題	解決方策	今後の取組の方向性
加工食品	<ul style="list-style-type: none"> 「1/3ルール」、年月日表示の賞味期限等業界特有の慣習が存在 多種多様な製品サイズが存在 ⇒複雑かつ長時間にわたる検品作業 ⇒長時間にわたる荷役作業 	<ul style="list-style-type: none"> 賞味期限の年月表示化等による検品作業の効率化 QRコード等の活用による伝票情報の電子化 パレットサイズや外装サイズの統一、外装表示の標準化 	<ul style="list-style-type: none"> 事前出荷情報の提供と伝票情報の電子化の組み合わせ等による検品レスの実現 物流標準化アクションプランに沿った標準化の取組の推進
建設資材	<ul style="list-style-type: none"> 天候や道路事情等により計画どおりに搬出入が進まないことが日常的 ⇒トラックの荷待ちへの関心が薄い 多種多様な製品を邸別に仕分け ⇒複雑かつ長時間にわたる検品作業 	<ul style="list-style-type: none"> 工事現場における事前の段取りをデジタル化したうえで「見える化」と「精緻化」し、関係者の円滑な情報共有を推進 運送と荷役の分離の推進 複数のユーザーが一貫して活用できる標準コードを導入し、入出荷検品を目視から電子化 	<ul style="list-style-type: none"> 元請業者による物流へのマネジメントの強化 伝票情報や物流情報を現場が容易にアクセスできる環境整備を促進
紙・パルプ (洋紙・板紙)	<ul style="list-style-type: none"> 製品での差別化ができず、不十分なリードタイムや少量多頻度納品、附帯作業等の差別化による受注競争の商習慣が定着 ⇒低積載率での運行 ⇒附帯作業の実施による長時間労働 	<ul style="list-style-type: none"> 発着荷主を含めた関係者間で十分な協議を行い、リードタイムや少量多頻度納品の緩和、平準化、附帯作業の軽減等の対策を実施 発注者の製造計画等を関係者で共有化・見える化する取り組みを推進 	<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーンにおける物流コストの適正な負担 共同保管・共同輸送の実現に向けた取組みの推進 荷役の機械化を推進
紙・パルプ (家庭紙)	<ul style="list-style-type: none"> 製品単価が安価であるため、パレット化のための投資が進まない ⇒手荷役による長時間労働 製品が安価かつ嵩張るため、小売りの物流センターでは取り扱われず、かつ、小売店舗での保管も困難 ⇒家庭紙のみを少量多頻度で毎日納品 	<ul style="list-style-type: none"> 発着荷主の連携によるパレット化 物流負荷を軽減させるコンパクト製品の切替 	<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーンにおける物流コストの適正な負担 「手積み手卸しの解消」を共通認識に、パレット化の早急な促進 消費者へ製品メリットの積極的な周知を行うなど、コンパクト製品の普及促進

加工食品

加工食品物流の課題の発生個所



発生個所 A・B・D

【小売・卸発注時、メーカー・卸出荷時】

- ・発注から短期間での納品、特定の日に物量が集中
⇒ **【受発注条件の見直し】**

発生個所 C・E・G

【卸・物流センター・小売店舗荷卸し時】

- ・荷卸し場所の処理能力や車両集中に起因する待ち時間の発生
⇒ **【荷待ち時間の削減】**

発生個所 B・C・D・E

【メーカー・卸荷積み時、卸・物流センター荷卸し時】

- ・荷積み・荷卸し時に長時間の荷役作業が発生
⇒ **【荷役時間の削減】**

発生個所 C・E・G

【卸・物流センター・小売店舗荷卸し時】

- ・業界の慣習や目視等による長時間の検品作業
⇒ **【検品時間の削減】**

加工食品物流における取引環境と長時間労働の改善に向けた対応

【加工食品物流における課題の特徴】

- 加工食品物流においては、業界慣習である1/3ルールや年月日表示された賞味期限情報、統一されていない伝票情報の手入力等により、検品に要する時間が長くなり、トラックドライバーの労働時間が長くなる要因となっている。
- また、即席麺やお菓子等、パレット化されずバラ積みとなっている商品も多く、パレット化されていてもパレットのサイズや段ボールサイズが様々であり、手積み・手卸し等で長時間の荷役作業が発生し、トラックドライバーの労働時間が長くなる要因となっている。

主な対応策

◆ 納品期限の緩和や賞味期限の年月表示化を推進

→ **大手スーパー、コンビニを中心に見直しが進んでいる**状況。更なる取組企業や品目の拡大を図る。

◆ QRコードの活用による検品時間の削減

→ **紙伝票を電子化してQRコードからクラウド上の電子伝票を読み込む形式**にするとともに、**荷の外装にもQRコードを貼り付け、着側での検品時間を削減する実証実験を実施。**

(800箱の運送で**約40分の検品時間を削減**するとともに、紙伝票の取扱いに係る**年間約1,500万円のコスト削減効果**)



◆ パレットサイズや外装サイズの統一、外装表示の標準化

→ 加工食品物流において主流となっている**T11型(1,100mm×1,100mm)及びT12型(1,200mm×1,000mm)のパレットの推奨**や、これらのパレットに積載することを念頭に置いた**外装サイズの見直し、外装表示の内容や位置の統一**等について、**加工食品分野における物流標準化アクションプラン**

(https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000500.html)を策定。

今後の取組の方向性

- 事前出荷情報の提供と伝票情報の電子化等を組み合わせるなど、**検品レスの実現に向けた取組を推進。**
- 物流標準化アクションプランに沿った外装サイズや表示等の**標準化を推進し、荷役時間の削減を図る。**

建設資材

建設資材物流における課題の発生箇所

課題①: 荷待ち時間の発生
⇒【対応策】工事現場の進捗状況等の情報共有

課題③: ドライバーが附帯作業を実施
⇒【対応策】附帯作業の軽減

課題②: 発注期限が守られない場合がある
⇒【対応策】リードタイムの確保

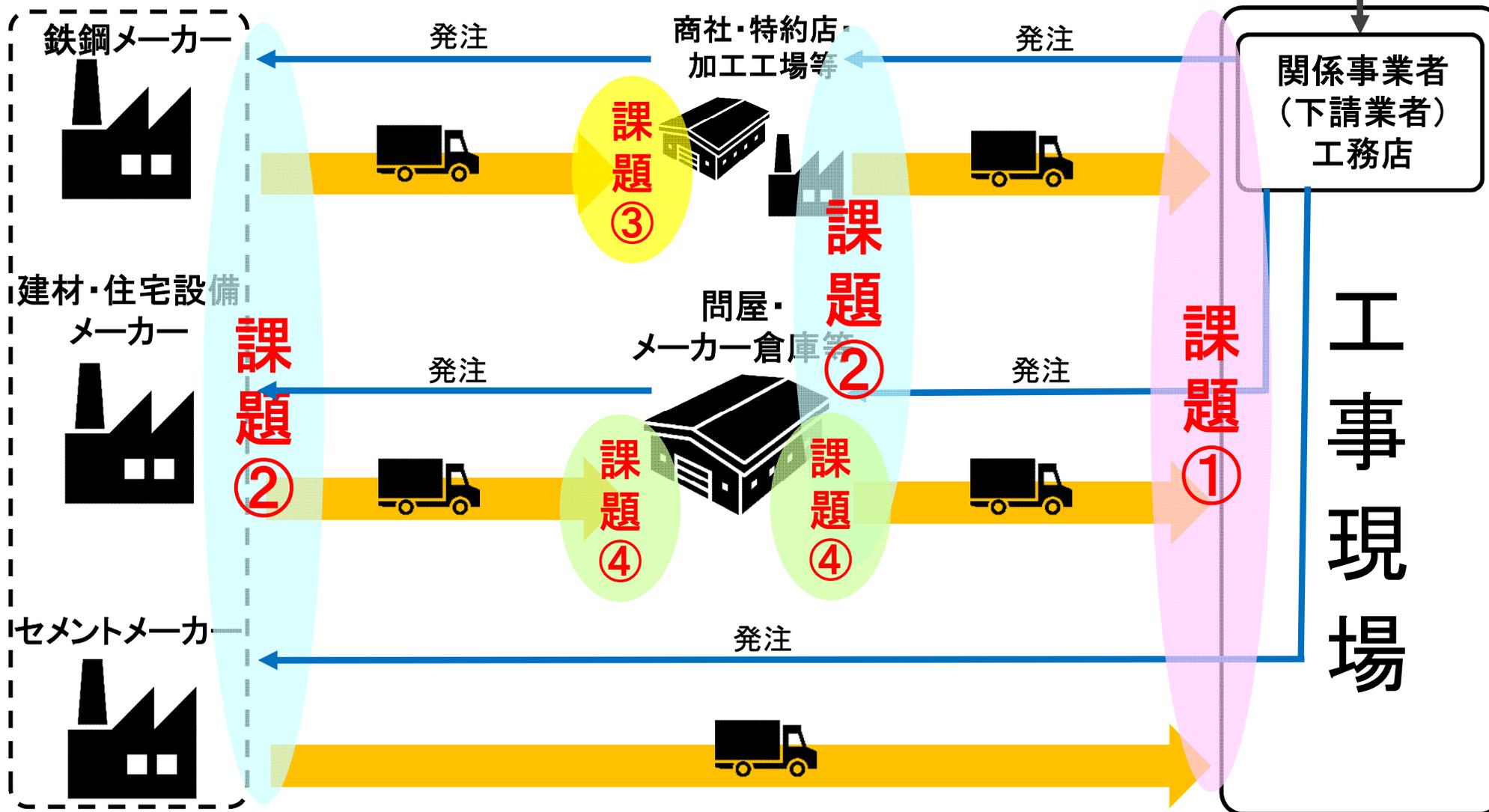
課題④: 検品・仕分作業に時間がかかる
⇒【対応策】検品・仕分作業の効率化

ゼネコン・ハウス
メーカー(元請業者)

施工管理

関係事業者
(下請業者)
工務店

工事現場



建設資材物流における取引環境と長時間労働の改善に向けた対応

【建設資材物流における課題の特徴】

- 工事現場には非常に多くの下請業者に紐づいた建設資材が工事の進捗状況に応じて搬入されているが、天候や道路事情等により当初の搬入計画どおりに運用が進まなくなると、限られた荷卸しスペースにトラックが集中し、荷待ち時間が発生している。
- 建設資材は多品種であり、かつ、邸別・部屋別など物件ごとに搬入される製品が異なるため、出荷時・納品時の作業が複雑化・長時間化しており、トラックドライバーの荷待ち時間につながっている。
- 上記課題の解決の手段として、ICTの活用があまり進んでいない。

主な対応策

◆ 課題①：荷待ち時間の発生

◆ 課題②：発注期限が守られない場合がある

- 元請業者と下請業者との連携による情報の共有が必要。
前日の作業間連絡調整会議の段取りをアナログな方法から、**WEBクラウドを活用したデジタルな方法に移行し、円滑な情報共有を推進。**
段取りの際、トラックの入退場が輻輳しないよう、**入カールールを精緻化する必要。**
- 発着荷主間で十分協議を行うとともに発注予定を共有化し、リードタイムの緩和や受注量の平準化に取り組む。

WEB予定一覧

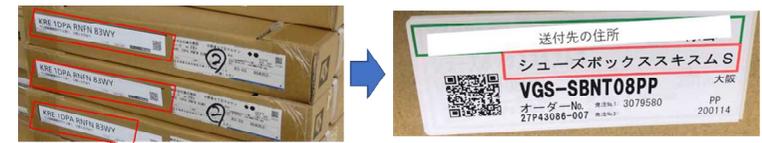


◆ 課題③：ドライバーが附帯作業を実施

- 納品条件は**車上渡しを基本とし**、着荷主側で専門の荷役作業員を配置させ、トラックの運行効率を向上させる荷役分離を進め、それでも**ドライバーが実施しなければならない場合は、書面で料金化するようにルール化**する。

◆ 課題④：検品・仕分作業に時間がかかる

- 複数の建設資材製造業、卸、ユーザーが一貫して活用できる**仕様等が標準化されたコード体系を導入**する。
入出荷の検品作業等を**目視から電子化**することで、業務を効率化する。



今後の取組の方向性

- 荷主の配慮義務を踏まえた建設業の取引適正化の取組みの推進 ⇒ 元請業者による物流へのマネジメントの強化
- ICTの活用による情報の共有化の推進 ⇒ 伝票情報や物流情報を現場が容易にアクセスできる環境整備を促進
- 附帯作業の軽減 ⇒ 車上渡しを原則としつつ、役割分担を整理し、納品条件を明確化

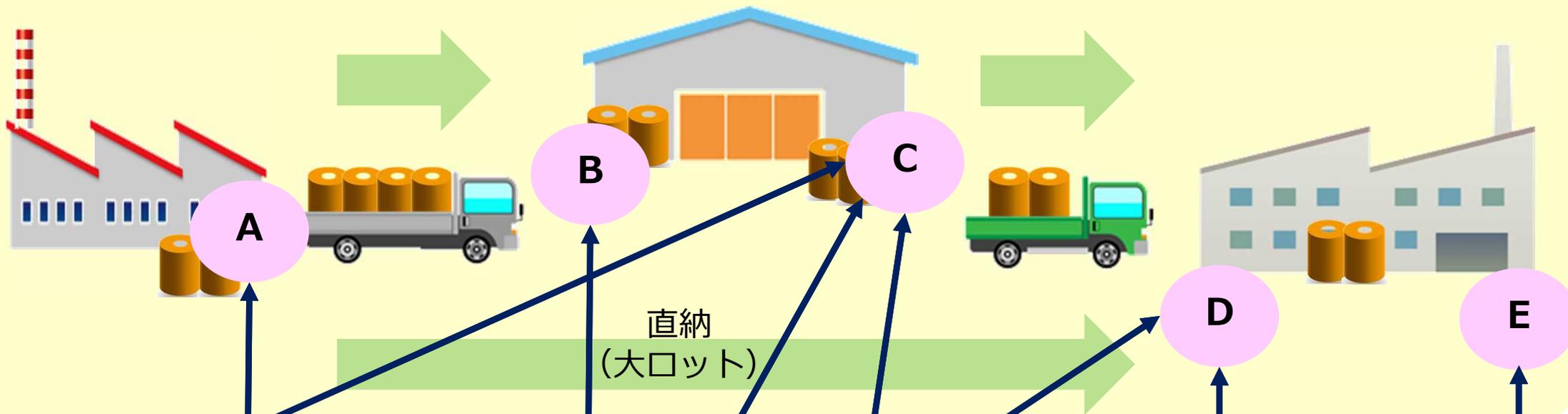
紙・パルプ（洋紙・板紙分野）

紙・パルプ(洋紙・板紙分野)物流の課題の発生個所

製紙メーカー

代理店・卸商・倉庫

印刷工場等



発生個所 A・C
【代理店・卸商出荷時】

- ・発注期限が守られない一方、納品時間指定が厳しい

⇒ **課題 1**
【リードタイムの確保】

発生個所 B・C・D
【代理店等・印刷工場等荷卸し時】

- ・車両集中による出荷・荷卸し待ち時間の発生
- ⇒ **課題 3** **【荷待ち時間の削減】**

発生個所 C
【代理店・卸商出荷時】

- ・小ロットによる配送効率の低下

⇒ **課題 2**
【少量多頻度納品の効率化】

発生個所 D
【印刷工場等荷卸し時】

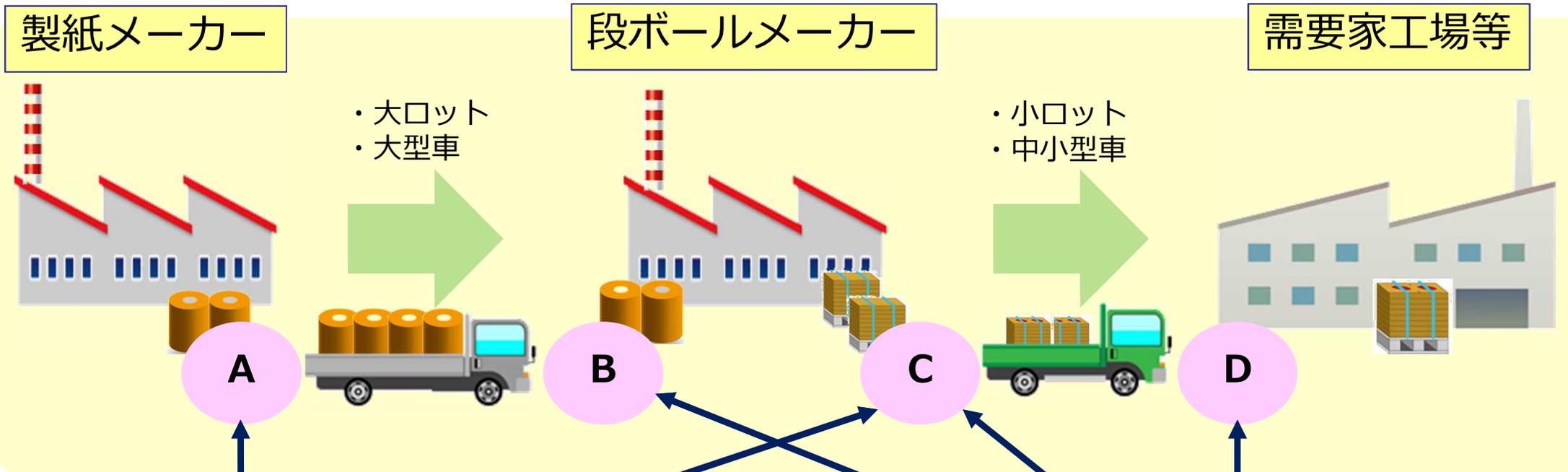
- ・契約外の荷卸し作業等が発生
- ⇒ **課題 4**

【附帯作業の軽減】

発生個所 E 【印刷工場等出荷時】

- ・特定の日・曜日に物量が集中
- ⇒ **課題 5** **【繁忙差の平準化】** 10

紙・パルプ(段ボール分野)物流の課題の発生個所



発生個所 A・C 【各所出荷時】

- ・発注期限が守られない一方、納品時間指定が厳しい
 - ・小ロットによる配送効率の低下
- ⇒ **課題6 【リードタイムの確保及び少量多頻度納品の効率化】**

発生個所 B・C・D 【各所出荷・荷卸し時】

- ・車両集中による出荷・荷卸し待ち時間の発生
- ⇒ **課題3 【荷待ち時間の削減】**
- ・契約外の荷卸し作業などが発生
- ⇒ **課題4 【附带作業の軽減】**

紙・パルプ(洋紙・板紙分野)物流における取引環境と長時間労働の改善に向けた対応

【洋紙・板紙物流における課題の特徴】

製紙産業は技術開発の要素が少なく、他社との商品による差別化が難しいことから、商品以外の部分（リードタイムや納品方法等）での競争が行われてきた結果として、不十分なリードタイムでの発注や少量多頻度納品といった商習慣が定着し、これが運送事業者やドライバーの負担増につながっている。

主な対応策

◆ 課題1【リードタイムの確保】

→ 発着荷主の受発注プロセスを共有化するなど、関係者間で十分協議することが重要。また、受発注締切期限を厳格に運用する。

◆ 課題2【少量多頻度納品の効率化】

→ 物量の平準化、共同輸送の実施、納品場所、納品回数等の集約などで効率化を図っていく。

◆ 課題3【荷待ち時間の削減】

→ **予約受付システム**の運用など、車両集中の分散化手法を実施する。

◆ 課題4【附帯作業の軽減】

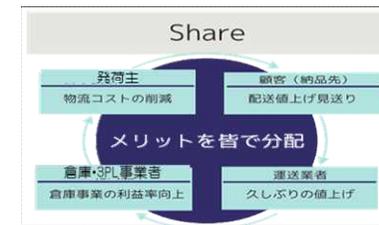
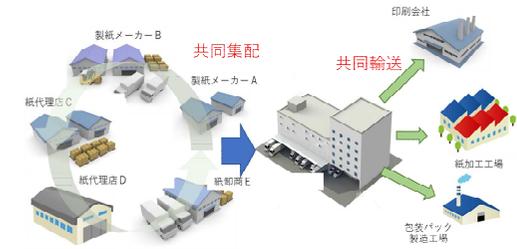
→ 発着荷主は契約書面に納品時の附帯作業の内容や実施者等について明記する。**パレット納品**を可能とするため、導入課題を協議する。

◆ 課題5【繁閑差の平準化】

→ 平準化が**関係者全体のメリットにつながる**と認識し、週単位、日単位など波動の分散化を関係者で協議する。

◆ 課題6【リードタイムの確保及び少量多頻度納品の効率化】

→ **十分なリードタイム**のもと、**発注者の製造計画を共有**し納品計画を事前に調整するなど効率化を図る。

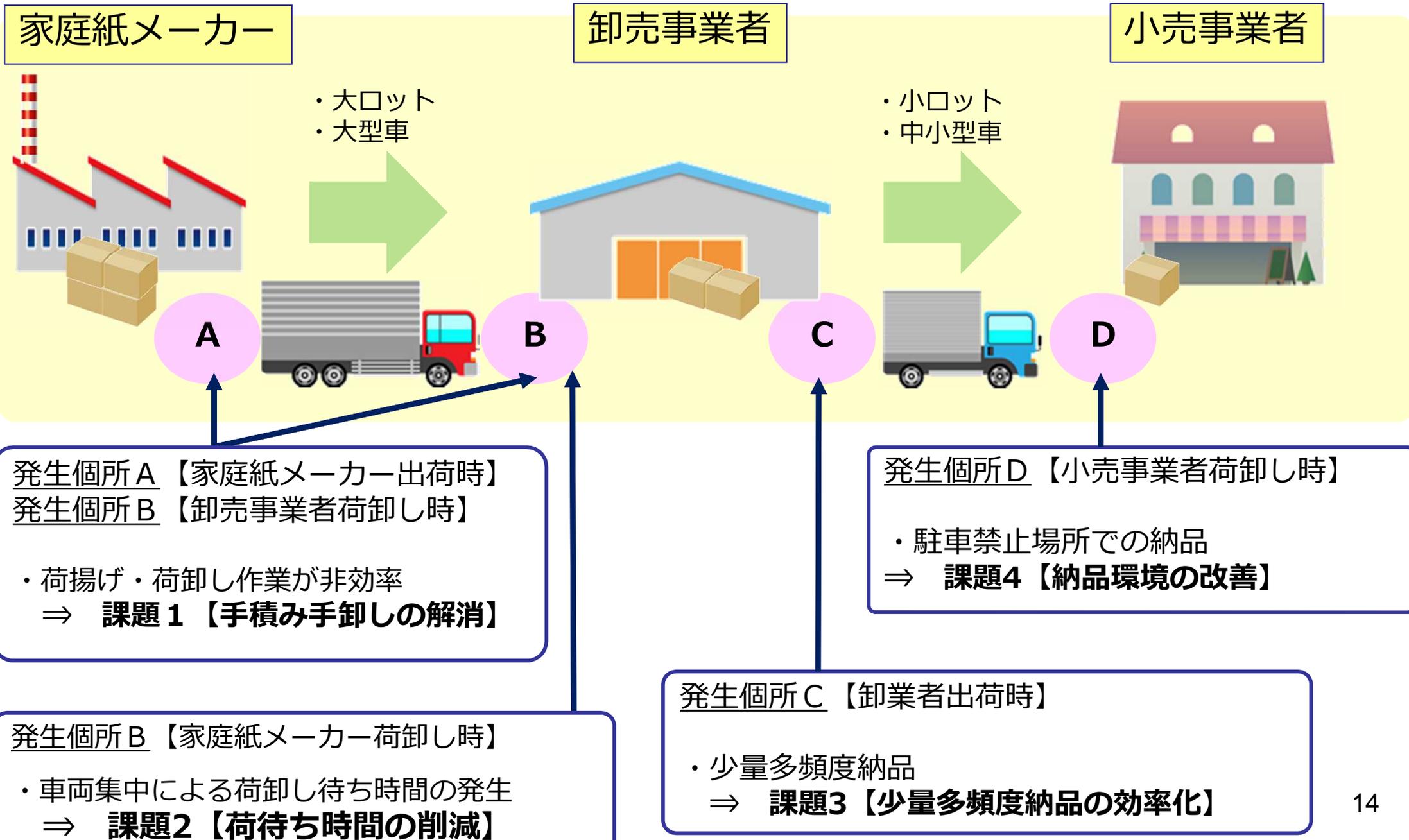


今後の取組の方向性

- サプライチェーンにおける物流コストの適正な負担 ⇒ **物量が減少していく**と予想される中、関係者間で**適正な負担を協議**すべき
- 共同保管及び共同配送の実現に向けて ⇒ サプライチェーン全体の効率化を考慮した**メーカー共同倉庫の設置**等を検討
- 十分なリードタイムの確保の必要性 ⇒ 洋紙・板紙の**需要家のサプライチェーン(出版・広告等)**とも**協力関係を構築**していく必要
- 附帯作業の軽減 ⇒ 役割分担の明確による取引条件等の見直しとともに、危険が伴う作業(俵二段積み等)については機械化を促進
- 物量の平準化 ⇒ サプライチェーン全体で平準化を図るため、物量が多く特定の日に集中する**雑誌の発売日の分散化**等を実現
- 段ボール分野の方向性 ⇒ ①少量多頻度輸送及びリードタイムの改善、②薄型段ボールへの転換、③ユニットロードの標準化を注力

紙・パルプ（家庭紙分野）

紙・パルプ(家庭紙分野)物流の課題の発生個所



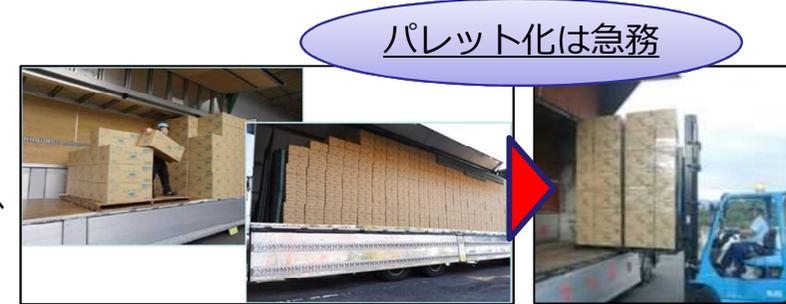
【家庭紙物流における課題の特徴】

- 家庭紙製品は単価が安いいため、メーカーと卸売業者との間の幹線輸送においては、新たな設備投資コストを価格に転嫁しづらい中で、パレット化等の物流効率化に向けた取組みを進めていかなくてはならない状況にある。
- また、家庭紙製品は嵩張るため、規模の小さい小売店舗においては在庫を持つことができず、日々必要数量を配送する少量多頻度納品となっており、単価が安い (= 運賃が安い) ことと相まって、運送事業者の経営を圧迫している。

主な対応策

◆ 課題1【手積み手卸しの解消】

- **手積み手卸しの解消のため、パレット化の取組を実施する。**
10トン・トラックの場合、積み卸し作業に2時間程度かかっており、ドライバーの長時間労働につながっている他、長時間バースを占拠することにより、他のトラックの荷待ち時間の長時間化にもつながっている。



◆ 課題2【荷待ち時間の削減】

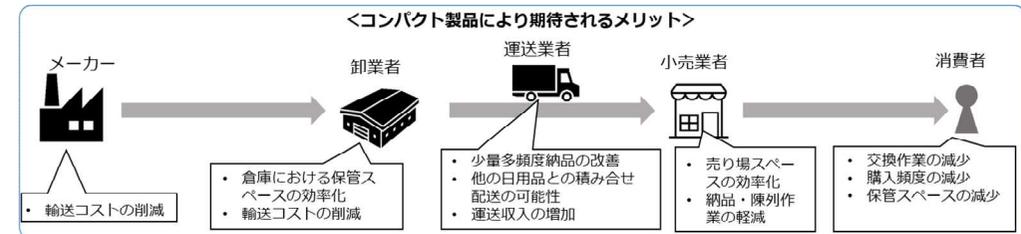
- **予約受付システム**の運用など、車両集中の分散化手法を実施する。
- 繁閑差を平準化する取組を進めるため、着荷主の発注見込み量を把握した上、発着荷主が納品計画を協議する。

◆ 課題3【少量多頻度納品の効率化】

- 物流の負荷を軽減させる**コンパクト製品**への切替を、サプライチェーン全体で実施する。

◆ 課題4【納品環境の改善】

- 小売店舗の駐車場の共同利用や商店街の共同集配送など、先進事例を参考に都市内物流の納品環境の改善を実施する。



今後の取組の方向性

- サプライチェーンにおける物流コストの適正な負担 ⇒ 持続可能な物流体制を構築していくため、関係者間で**適正な負担を協議**すべき
- パレット化の早急な促進 ⇒ 「**手積み・手卸しを解消する**」ということを共通認識として、更なる取組を促進
- コンパクト製品の普及促進 ⇒ 消費者へ製品メリットの積極的な周知を行い、サプライチェーン全体で検討を継続
- 小売店舗への配送方法の改善 ⇒ 都市内物流の効率化に向け、さらなる関係者が連携した取組を促進